



アンドール株式会社

知的資産経営報告書

2008年版

## 目次

1. 社長よりみなさまへ	3
2. 経営理念	3
3. 経営方針	4
4. アンドールの事業概要	5
5. アンドールの沿革	6
6. 知的資産	
知的資産マップ	7
開発・技術・管理力	8
デザインから製造まで一気通貫	9
異業種とのネットワーク	15
7. 今後の事業展開	
人材育成	17
新しい情報収集の促進	18
目標実績	19
8. 会社概要	20
9. 知的資産とは	22
10. 本書ご利用上の注意	22
11. お問い合わせ先	22

## 1. 社長よりみなさまへ

これからは 繊維業界といえども、常識に捕らわれない自由な発想がキーになって行く事はまちがいがありません。

新しい自分達のスタイルをどの様に築いていくか、そして新しい価値をお客さまにどうご提供するか、その為に先ずは自分達を見直す事から始めました。

常に変わり行く外部世界に対応できる柔軟性と、これだけは譲れないというコアな部分とを両方併せ持つ、頑固で柔らかい企業として、お客さまに貢献してゆきたいと存じます

社名の由来

学校で習った集合体を覚えていらっしゃるでしょうか？

AND=全ての条件を満たす OR=どちらかの条件を満たす

だから、AND+OR=ALLでは？ 続けて読めばアンドールになりませんか？

地球上の全ての人々に価値を提供できる私達でありたいと、この社名になりました



アンドール株式会社  
代表取締役 岸村 裕子

## 2. 経営理念

### 『和 喜 愛 逢』

- |   |  |
|---|--|
| 和 | 社会との密接な繋がりを重視し、責任を持ち信頼を得ます<br>個々の特性を生かした社員の調和によって支えられ、又それらの社員は大切な財産です。 |
| 喜 | 自信と誇りを持って活動する事に喜びを感じます。  |
| 愛 | 世界の人々に広く愛される、商品やサービスの提供を目指します。   |
| 逢 | 出逢いを大切にします。  |

### 3. 経営方針

#### 超一流のクオリティを提供します

- ① 確立された組織による超一流のサービスの提供を目指します
- ② スピードと変化に柔軟に対応する組織を目指します
- ③ 企業活動を通して顧客と社員全員が豊になる事を目指します



## 4. アンドールの事業概要

衣料用下着の企画・販売

ブラジャー、ショーツ、キャミソール、ランジェリー  
ガードル、ボディスーツ、その他（雑貨、男性用下着）

製造部門として中国大連に協力工場を持ち、OEM生産を始めとする顧客への生産体制を有している



## 5. アンドールの沿革



すべてにおいて超一流のクオリティをめざして

- 00 01 03 04 05 06 07 08
- 00 売上げが前年対比190%達成  
事務所移転
- 01 3LDKマンションへ事務所移転  
通販OEMスタート
- 03 有限会社ゲンとして、ワンルームマンションからスタート
- 04 量販店・専門店OEMスタート。ヒット商品を手がける
- 05 アンドール株式会社に社名変更  
パターンにおける実用新案取得
- 06 通販売上げの急激な落ち込みによる経営悪化  
ターゲット層を20代前半から30代へ転換  
2006年IT経営百選奨励賞受賞  
**社内業務効率化のため、一気通貫システムを開発。**
- 07 高級専門店OEM開始  
2007年関西IT活用企業入選
- 08 2008中小企業IT経営力大賞。IT経営実践企業認定

## 6. 知的資産

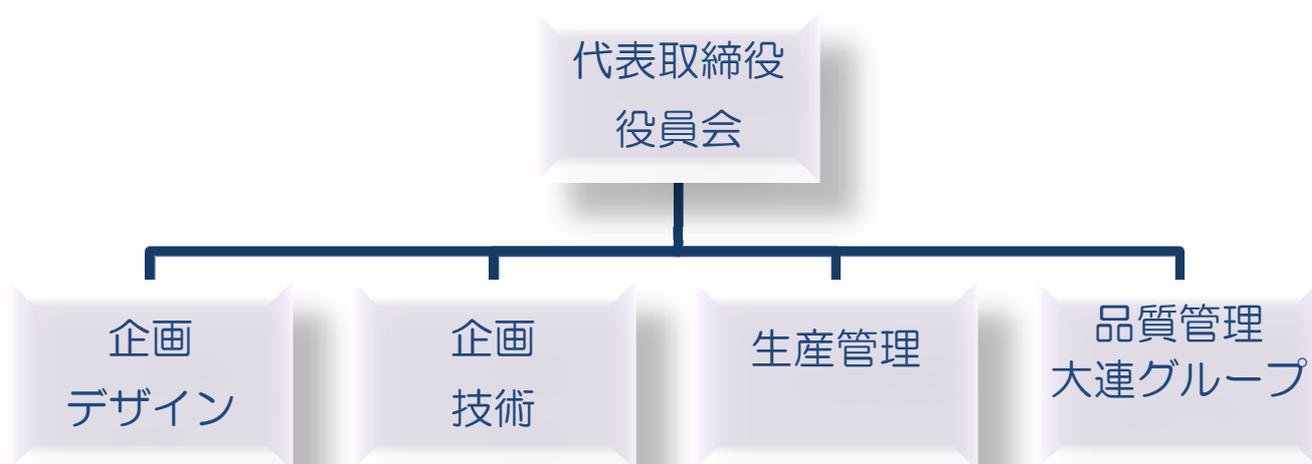
### 知的資産マップ



当社は、「全てにおいて 超一流のクオリティを」を目標に、デザイン・パターンを一つ一つ起こし、素材選びから縫製・品質管理・納品までを一貫して行う製造・販売メーカーとして、世界に向けて発信して参ります

## 6. 知的資産

### 開発・技術・管理力



#### デザイン

顧客ヒアリング会からニーズを掴み、デザイン性・トレンド・機能を付加し、素材を選定のうえ企画立案する力

#### 技術

二次元のデザイン画から、三次元の立体パターンに落とし込み、且つ、デザインにフィットする、斬新で最適なパターンを生み出す力

#### 生産・品質

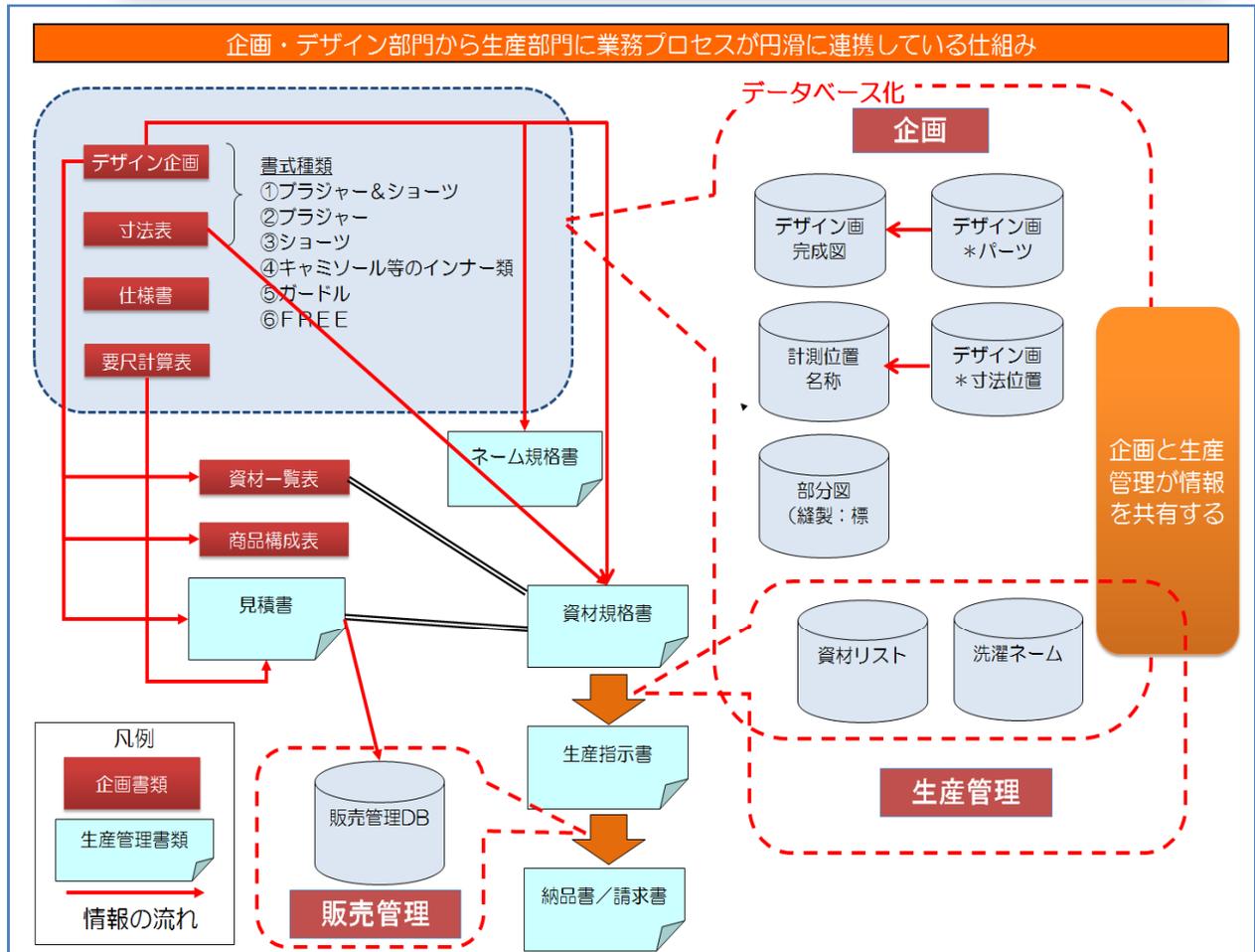
海外事務所との連携により、高品質な商品をスピーディに供給する力 地の利を活かした優良海外資材を発掘する力

#### 異業種への展開

培われた技術を活かし、日本発信による高付加価値の商品とサービスを提供する力

## 6. 知的資産

### デザインから製造まで一気通貫（1）



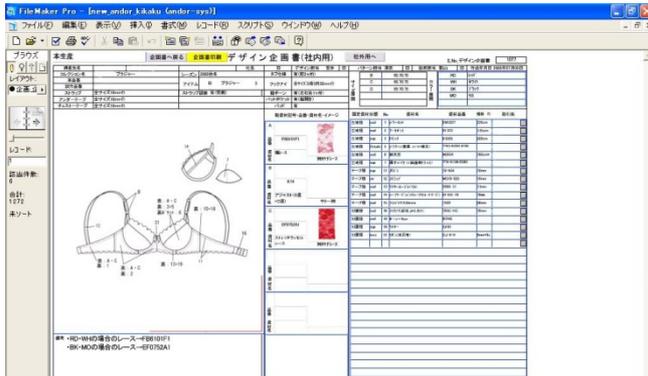
各部位をデータベース化し、生産工程の上流であるデザインから生産管理まで、情報の共有化・円滑化を図った。

更に、生産管理情報までデジタル化でき、海外(中国工場)とのデジタルでのデータの交換も可能になり、生産性が一気に向上した

## 6. 知的資産

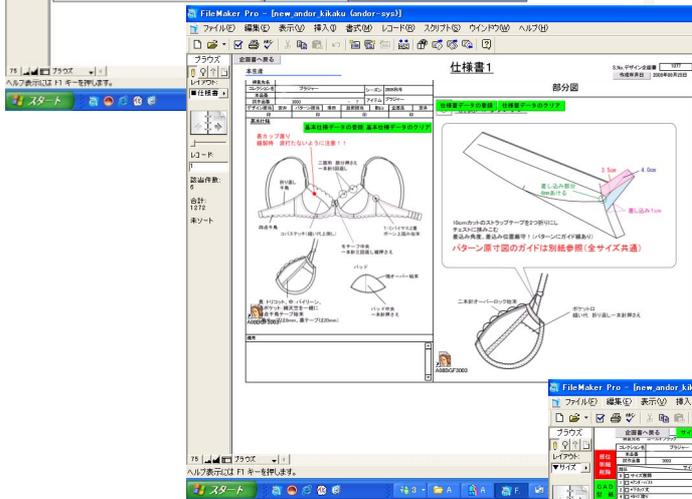
### デザインから製造まで一気通貫（2）

個々に作成していた書類を一つのシステムに乗せ、スピードと正確さを実現しました



#### デザイン企画書

デザインの元になる帳票で、デザイン画をはじめ、サイズスペックや使用資材等も明記され末端の生産管理まで流れるデータのもとになるもの。

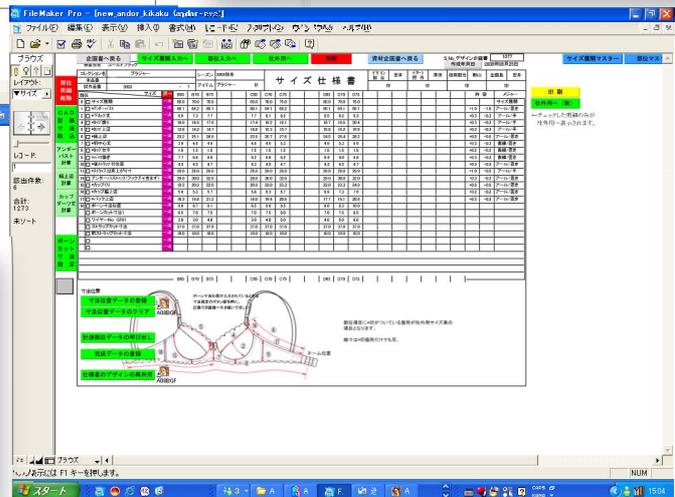


#### 仕様書

その商品を物にするにあたり、細部にわたって縫製注意事項を記載縫製現場を円滑に流す為の重要な書類です。

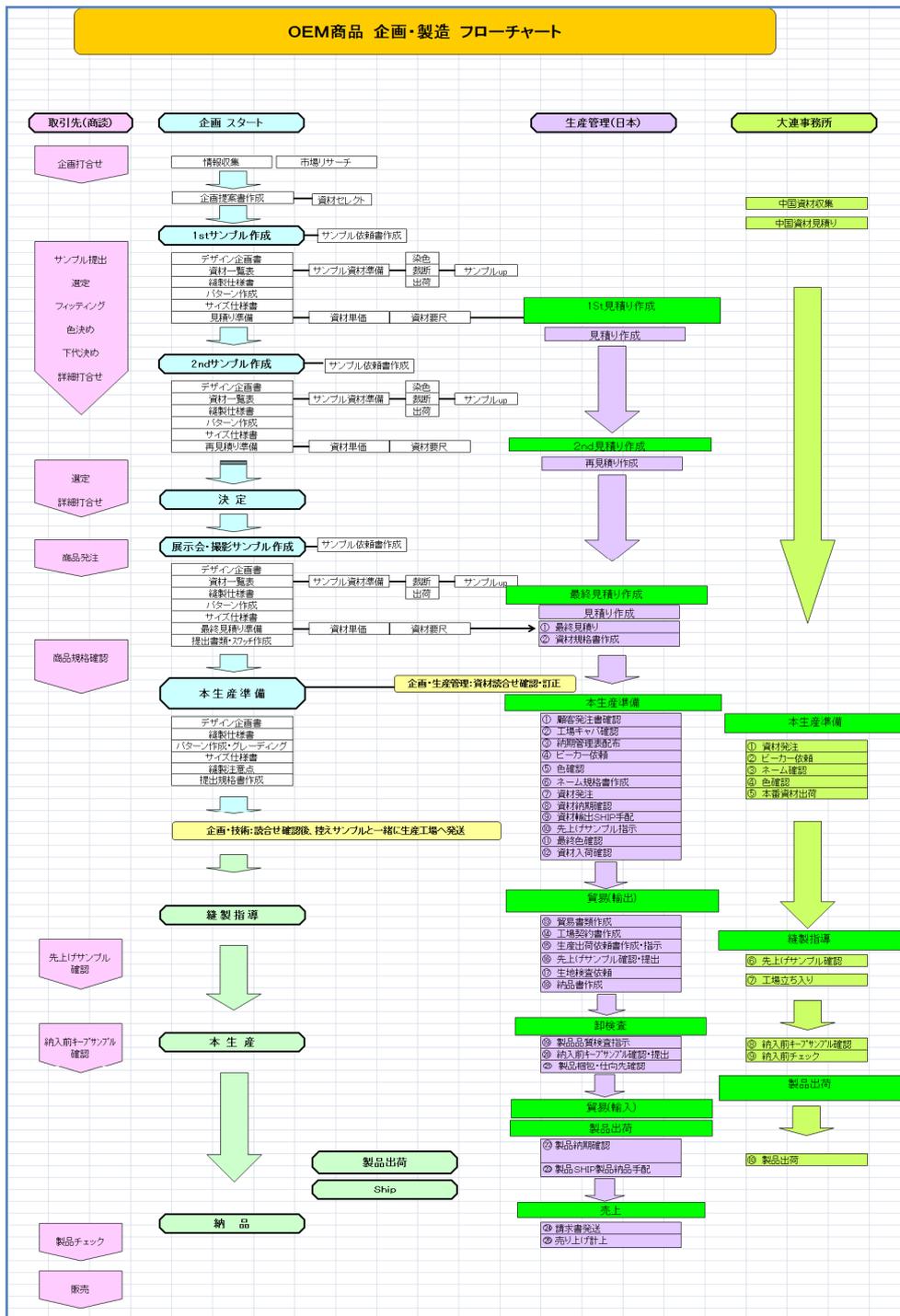
#### サイズ仕様書

CADから型紙寸法をインポートすることにより、従来の転記ミスが起こらなくなった。



# 6. 知的資産

## デザインから製造まで一気通貫（3）



## 6. 知的資産

### デザインから製造まで一気通貫（4）

#### 定量的効果

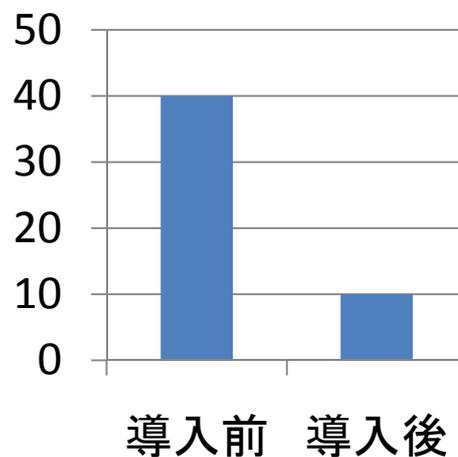
1) 企画から生産開始までの輻輳する期間の短縮。

内容：輻輳期間が短くなることによる、業務短縮による就業時間（残業時間）に与える効果をみる。

評価：デザイナーチームの一人あたり平均残業時間を、月40時間から10時間に短縮できた。

派生効果として、時間的（物理的）余裕が発生したことにより、新規顧客の取引に成功した。新規により、売上げ全体が大きくなった結果、従来「通販2社」の売上げが100%であったが、「通販2社」の割合が全体の50%となった。

平均残業時間  
(時間)

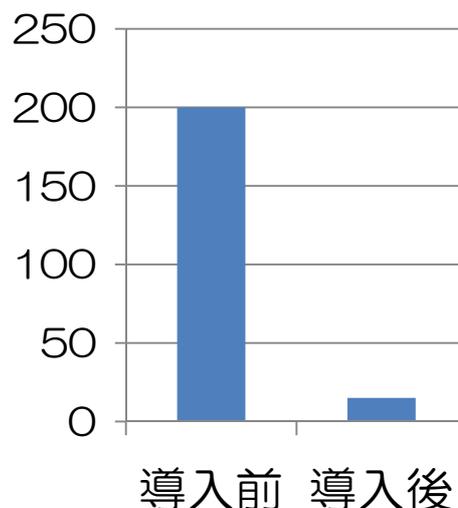


2) 企画開発時間の短縮

内容：登録されたパターンを利用して、企画開発の時間を短縮する。

評価：1品番あたりのファーストサンプル作成のための工場への依頼書類作成時間を、3~4時間から15分に短縮できた。

企画開発時間 (分)



## 6. 知的資産

### デザインから製造まで一気通貫（5）

#### 定量的効果

3) 熟練していない社員でも、規定のデザイン画の作成と変更ができる。

内容：デザイナーの感性をデータ化しているため、熟練していないデザイナーでも短時間で描ける。100万通りのデザインバリエーションが可能。

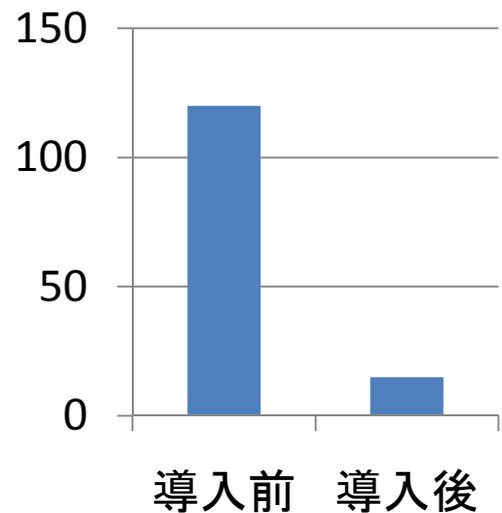
評価：熟練していないデザイナーに実際の操作をさせ、デザインが35分で完成できた。

新人デザイナー  
35分で完成

4) 見積書の作成時間の短縮  
内容：従来の見積り方法は紙ベースで行っていたが、見積りに必要な情報がデジタル化しているため作成時間が短縮された。

評価：従来の作成時間は2～3時間だが、それを15分に短縮できた。

見積書作成時間（時間）



## 6. 知的資産

### デザインから製造まで一気通貫（6）

#### 定性的効果

1) 今回のIT導入によって、残業時間の短縮や、エラーやミス削減が実現したため、社員全員に余裕が生まれ、職場環境のモチベーションの向上に役立った。

2) デザイナーは新しい企画の実現に向けた時間が生まれ、新企画に取り組んでいる。

3) 生産部門もエラーが削減できたので、精神的にもストレスの軽減になっている。



## 6. 知的資産

### 異業種とのネットワーク（1）

講演活動		
ITCカンファレンス	ITコーディネータ協会主催	2008年10月
京都経営戦略シンポジウム	関西情報・産業活性化センター主催	2008年 9月
IT活用による 「ダントツ・経営革新」セミナー	大阪能率協会主催	2008年 8月
ウォーリス様主催の勉強会		2008年 4月
ITC実践研究セミナー	関西ITアソシエイト主催	2007年 6月
IT経営セミナー(奈良)	近畿経済産業局	2007年12月

広報掲載		
“全国商工会“		2008年8月
“マリリン・タイムス” 下着業界新聞		2007年8月
“社会経済基礎研究所” 関西情報化実態調査		2008年3月

上記のような交流を通じて、異業種の方と  
コラボレーション図られ、ビジネスチャンスが増え  
た。

## 6. 知的資産

### 異業種とのネットワーク（2）



ネットワーク先	役割
靴下メーカー	富田林商工会を通じてご紹介頂いた企業様 中国に明るく、アパレル関係の販売やOEMとして展示会に出品頂いている
和菓子メーカー	和をテイストとした紙器の提供を受け商品の付加価値を上げている
アリババ	OEMサプライヤーとしてビジネスマッチングへの参加
コンサルタント(中小企業診断士・ITコーディネーター)	経営支援・アドバイスを受けている

## 7. 今後の事業展開

### 人材育成

#### 社内研修

社員によるマナー研修会

各部署による研修会

デザイン

パターン

縫製

検品

貿易

その他、講師を招いて研修会

#### 社外研修

資材工場への見学会

資材メーカーによる素材研修会

検査機関への見学会

その他、セミナー等の参加

#### 海外研修

海外リサーチ

#### その他

自主学習への補助制度

## 7. 今後の事業展開

### 新商材・新市場の開拓

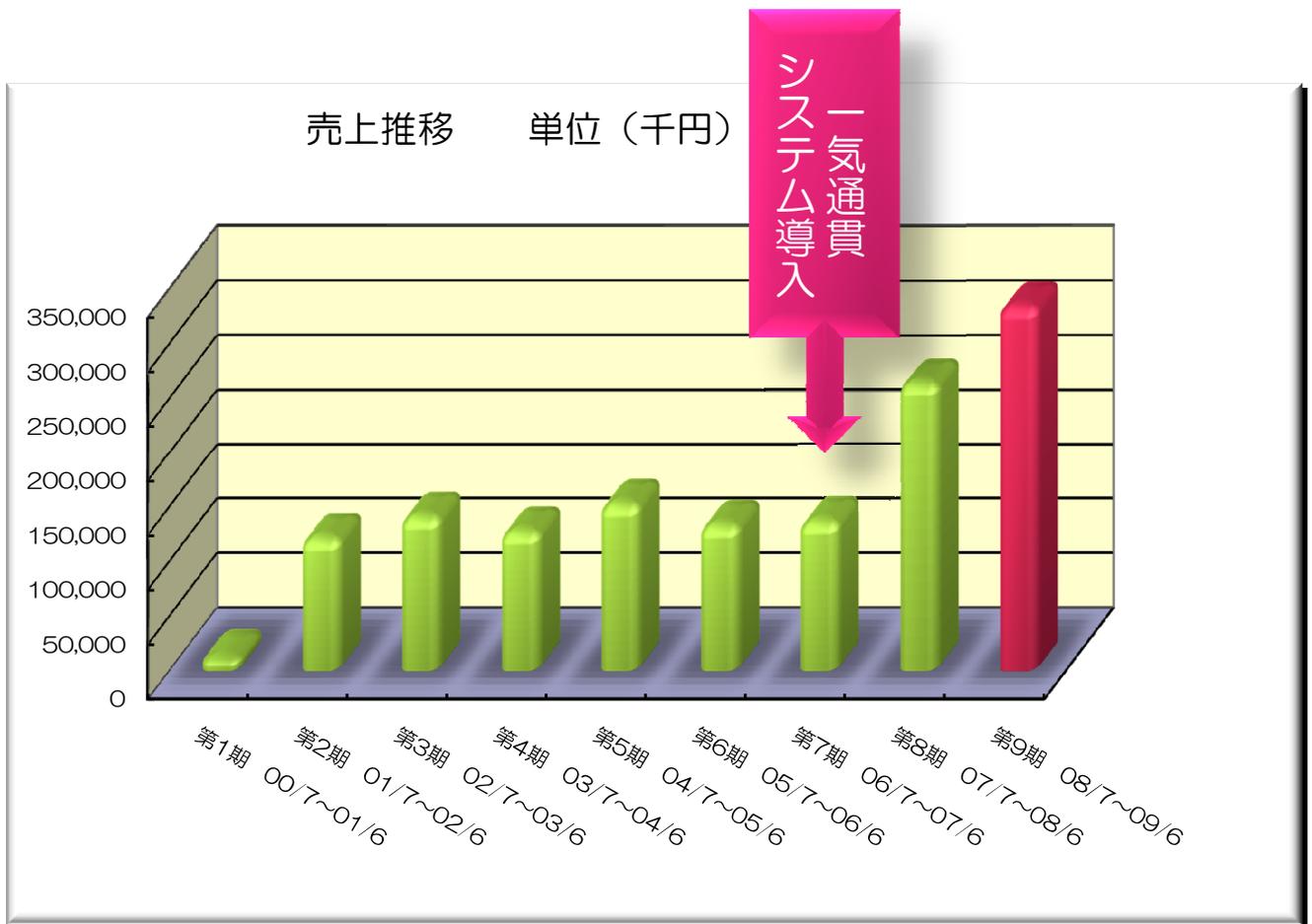
衣料用下着にとどまらず、雑貨・その他の業界とのコラボレーションによる販路拡大を目指す



雑貨において、すでに海外高感度商品の発掘し、アジア独占販売代理店契約を締結

## 7. 今後の事業展開

### 目標実績一覧



2008年度は対前年190%を達成した。  
2009年度は知的資産を強化し、さらに実績を伸ばしていく。

## 8. 会社概要

商号	アンドール株式会社
所在地	兵庫県西宮市六湛寺町12-10 サングリーンビル3階 電話 0798-23-6081 FAX 0798-23-6084
設立	2000年 7月21日
資本金	1,000万円
役員	代表取締役 岸村 裕子 取締役 桑井 利映美 取締役 澤田 真季
従業員数	企画 5名 技術 2名 生産管理 3名
設備	旭化成AGMS CAD3台、プロッター1台、 デジタイザー1台
海外事務所	大連事務所（日本語対応可能）
協力工場	中国 大連
主な事業	衣料用下着その他の企画・販売
主要製品	ブラジャー・ショーツ・ガードル・ボディースーツ キャミソール・ランジェリー
取引銀行	三井住友銀行 尼崎信用金庫



## 8. 会社概要



デザイン仕様確認をしています

デザインに最適な資材設定をしています



中国・大連事務所外観です



## 9. 知的資産とは

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

## 10. 本書ご利用上の注意

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附帯する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しています。そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要を生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

## 11. お問い合わせ先

アンドール株式会社 企画 澤田 真季  
所在地 兵庫県西宮市六湛寺町12-10  
電話 0798-23-6081  
FAX 0798-23-6084

作成支援  
（有）ツトム経営研究所  
中小企業診断士  
ITコーディネータ 森下 勉